

## 体育会各部活動報告

### ■ サッカー部男子部・女子部から 8選手がプロ・アマサッカークラブに内定

本学のサッカー部男子部から4名、女子部から4名の計8選手がプロ・アマサッカークラブと契約し、2021年シーズンより加入することが決まりました。新たなステージで活躍する姿にご期待ください。



板倉 洸選手  
国際観光学部  
内定先：  
ヴァンラーレ八戸  
(J3リーグ)



市原 亮太選手  
国際観光学部  
内定先：  
FC今治  
(J3リーグ)



桑原 遥選手  
国際観光学部  
内定先：  
UD Llanera  
(スペイン/  
テルセーラリーグ)



土田 直輝選手  
国際観光学部  
内定先：  
ヴェルスバ大分  
(日本フットボールリーグ)



大内 梨央選手  
食環境科学部  
内定先：  
サンフレッチェ広島  
(WEリーグ)



久保 真理子選手  
食環境科学部  
内定先：  
大宮アルディージャ  
VENTUS  
(WEリーグ)



常田 麻友選手  
食環境科学部  
内定先：  
伊賀FCくノ一三重  
(なでしこリーグ1部)



常田 菜那選手  
食環境科学部  
内定先：  
伊賀FCくノ一三重  
(なでしこリーグ1部)

### ■ 白井璃緒選手、酒井夏海選手が計4レースで1位獲得 大奮闘の第96回日本選手権水泳競技大会

開催を予定していた2020年4月から延期となっていた第96回日本選手権水泳競技大会が、2020年12月3日～6日に行われました。会場は東京五輪の会場予定地でもある東京アクアティクスセンター。本学の水泳部は、2日目の女子200m自由形で白井璃緒選手(国際観光学部国際観光学科3年)が1位を獲得すると、女子100m背泳ぎでも酒井夏海選手(法学部企業法学科1年)が1位に輝きました。両選手の活躍は止まらず、3日目の女子100m自由形でも酒井選手が1位、4日目の女子200m背泳ぎでは酒井選手が1位、白井選手が2位とワンツーフイニッシュ。加えて、3位入賞や自己ベストを更新する選手もあり、4日間の大会を通して本学水泳部の強さを示す結果となりました。



白井 璃緒選手



酒井 夏海選手

写真：大内翔太/フォート・キシモト

### ■ 陸上競技部女子長距離部門が 2020全日本大学女子選抜駅伝競走にて健闘

2020年12月30日に2020全日本大学女子選抜駅伝競走(富士山女子駅伝)が開催され、本学を含む21校が出場しました。コースは、静岡県富士宮市と富士市を結ぶ富士山麓の高低差174mに及ぶ起伏にとんだ7区間(43.4km)。最終7区は大会名物でもあり、襷を受けた3km過ぎから厳しい上りが続き、他に類を見ない過酷な区間となっています。チームは過去最高順位の8位以内の入賞を目指して力走り、6区で下里芽依選手(食環境科学部食環境科学科1年)が区間9位の走りを見せるも、結果は惜しくも13位に。沿道からの応援が自粛される中、SNSを中心とした多くの声援を力に変え健闘しました。



6区 下里 芽依選手

## 2020年度 英語スピーチコンテストと日本語プレゼンテーションコンテストで語学学習成果を発表

NEWS 02

2021年1月9日に6回目となる英語スピーチコンテストを、23日に3回目の開催となる日本語プレゼンテーションコンテストをオンライン配信で開催しました。両コンテストとも対象言語を母語としない学生を対象とし、日頃の学習成果の発表や、所属を超えた学生同士が切磋琢磨する機会を提供する目的で開催しています。今年度は、新型コロナウイルスや社会課題への解決方法の提言といった難易度の高いテーマにも関わらず、論理的で流暢な英語・日本語の発表が続きました。英語スピーチコンテストは、秋吉杏さん(国際学部国際地域学科1年)が、日本語プレゼンテーションコンテストではバズラチャルヤ ロバートさん(国際観光学部国際観光学科2年)が1位に輝きました。ロバートさんは「発展途上国の教育の再考をテーマに、自分のアイデアが皆様に認められたことを光栄に思います」とコメント。緊急事態宣言の発令を受け、急遽日程と実施方法を変更しての開催となりましたが、オンライン開催によってこれまで以上に多くの方に観覧いただきました。



日本語プレゼンテーションコンテスト1位  
バズラチャルヤ ロバートさん

## 産官学連携で地域の未来を考えるシンポジウム「Tokyoイーストの“元気”と地域中小企業の挑戦」を開催

NEWS 03

2020年12月17日に、本学と東京東信用金庫共催で東京都後援によるオンライン・シンポジウム「Tokyoイーストの“元気”と地域中小企業の挑戦」を開催しました。当日は、経営学部の山本聡教授(産官学連携推進センター 副センター長)がコーディネーターを務め、地域中小企業の代表取締役などがパネルディスカッションに参加。コロナ禍での事業継続の難しさやその中でも前向きに事業を進める術を語りました。さらに、事前に寄せられた質問に対して丁寧に回答するなど、学生をはじめとする参加者に向けて「挑戦する大切さ」を力強いメッセージとして伝えました。



パネラー  
土村 武史 氏(東京都産業労働局商工部 部長)、赤尾 由美 氏(アカオアルミ株式会社 代表取締役会長)、花輪 篤稔 氏(東京彫刻工業株式会社 代表取締役)、西川 喜久 氏(株式会社西川精機製作所 代表取締役)、吉田 秀樹 氏(株式会社スリーエス 代表取締役)

## SDGsとボランティアの理解を深める2020年度 ボランティアウィークを開催

NEWS 04

2020年11月24日～12月15日にかけて、本学ボランティア支援室が「SDGsとボランティアについて考えよう」をテーマに東洋大学・ボランティアウィークを開催しました。期間中には、オンライン講演会やワークショップ、キャンパス内での展示や参加企画が行われ、SDGsとボランティアへの理解を深めました。その一つ「探そう! 大学生にできるSDGs!」では、経済学部4年 安田海太郎さんと学生団体TIPSが白山キャンパス図書館1階入口で企画展を実施。SDGsが目指す17のゴールを説明したパネルの展示と、関連するWebや図書館に所蔵されている書籍の紹介、加えて英語・韓国語の字幕がついた音声ガイドも用意しました。さらに車椅子の方にも見やすいバリアフリー対応で、誰もが参加できる企画展として広くご参加いただきました。

オンライン講演会	
ボランティア入門講座	
東洋大生がワークショップで学ぶSDGs 「今知っておきたい 世界のジェンダー問題と私たちの権利 ～SRHR(性と生殖に関する健康と権利)を知っていますか?～」	
企業における人権への取組	
エイズってなんだろう? ～楽しく正しく学ぶ! 性感染症・エイズ～	
子どもの権利実現のために自分たちにできることを考える ～国連・子どもの権利条約とSDGsの視点から～	
SDGsと子どもの人権	
大地震! どうする? どこへいく?? ～「備え」のための1dayオンラインワークショップ～	
ユニバーサルマナーワークショップ ～〇〇 with Us～	

## 東洋大学重点研究推進プログラム 2021年度 研究プロジェクトが決定

NEWS 05

本学では、地球レベルの課題解決に貢献し、大学のブランドとなり得る先端的で独創的な研究を推進するプロジェクトへの助成制度「重点研究推進プログラム」を創設しています。2021年度は、8つの重点研究課題のうち⑤に取り組む「バイオミメティクス活用による高機能かつ持続可能なものづくり」と、③と⑤に取り組む「極限環境微生物の先端科学をSDGs達成のために社会実装する研究—Extremophiles×SDGs×Toyo Grand Design 2020-2024—」が、新たに採択されました。研究期間は2021年4月より3年間となります。

### 重点研究課題

①グローバルな協調を取り戻すための研究 ②IoT、ビッグデータ、人工知能(AI)、データエコノミー、Fintechなど情報通信技術革新を含むデジタルトランスフォーメーション(DX)に関わる研究 ③福祉改革の促進、健康寿命延伸の観点からの医療・健康福祉、食環境、生命科学分野等の先進国をリードする研究 ④産業のイノベーション力の創造的開発と、それを強化する社会システムの革新研究 ⑤SDGsの達成に貢献する研究、または同課題達成に向けたテーマ性を有する研究 ⑥ポストコロナにおける各種教育の高度化に資する研究 ⑦東洋大学の150周年を視野に入れて、大学としての個性化とブランド力を高めるための研究 ⑧上記①～⑦の課題に対処するための哲学・倫理・文化等の人文学研究

### <2019・2020年度採択プロジェクト>

研究プロジェクト名	重点研究課題
持続可能なインフラの提案によりグローバルな協調の再構築に貢献する研究—「インフラメニュー」と「経済性・社会性評価アプリケーション」制作—	①・④
開発途上国における生活環境改善による人間の安全保障の実現に関する研究—TOYO SDGs Global 2020-2030-2037—	⑤
22世紀の世界哲学の構築にむけて	⑧
つながりがある社会を支える価値と支援システムに関する研究	③・⑥
多階層的研究によるアスリートサポートから高齢者ヘルスサポート技術への展開—社会実装に向けての研究組織連携の構築—	②

## “学生一人ひとりの成長を約束するために” 質保証フォーラムを開催

NEWS 06

2020年12月11日に、教育研究活動および大学運営全般に係る質保証体制の理解を深め合う機会として、本学教職員を対象とした質保証フォーラムを開催しました。

前半の全体会では「東洋大学の歩むべき方向性～学生一人ひとりの成長を約束するために～」と題した矢口悦子学長の講演に始まり、「今後の評価サイクルについて～自己点検・評価、中期計画、その他評価活動との運動性～」を大学評価支援室長が説明。後半は、「学部・研究科」「全学委員会」「大学運営・財務」の3グループに分かれた意見交換会が行われました。教員と職員がともにさまざまな課題を共有する貴重な機会となりました。



## 4月より証明書のコンビニ発行サービスが開始

NEWS 07

コンビニエンスストアで証明書を取得できるサービスが2021年4月1日より運用を開始します。対象となるのは在学生の6種類、卒業生(2013年3月以降の卒業・修了した方\*)の2種類の証明書で、オンラインでの申請後、全国のセブンイレブン、ファミリーマート、ローソンの店舗に設置されているマルチコピー機で取得することができます。



▶詳細や上記以外の証明書の発行については公式Webサイトでご確認ください ※2012年9月以前の卒業生については、申請・支払いのみ利用可能、受け取りは郵送となります。

在学生 <https://www.toyo.ac.jp/s/certificate/> 卒業生 [https://www.toyo.ac.jp/s/certificate\\_alumni/](https://www.toyo.ac.jp/s/certificate_alumni/)